

: ° ☆。 , :: ★。 , :*: ° ☆。 , :*: ° 。 , :*: ° ☆。 , :*: ★。 , :*: °



みらいっうしん

1月号

2021年1月12日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦 芳子



, :*: ★。 , :*: ° ☆。 , :*: ° 。 , :*: ° ☆。 , :*: ★。 , :*: °

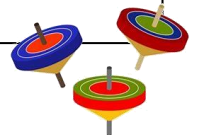
新年あけましておめでとうございます

2021年を迎え、令和3年のお正月は、天候にも恵まれ穏やかな日となりました。今年は丑年ということで、暦などで調べてみますと、痛みを伴う衰退の年で、新たな息吹が増強し合う年だそうです。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける一年の幕開けとなりましたが、「牛」はもともと粘り強く堅実な行動をとると言われています。多少の苦労があっても根気強く、続く試練を世界中の人々が意見を出し合い、この災禍の一日も早い終息を願い、平和な生活に「モー」と声を出して戻れるよう、皆様が幸せな一年となることを心からお祈りいたします。私達職員も、新しい一年に希望を込め、今まで以上に園児一人一人に心を配り、遊びの環境を整え、より良い教育と保育ができるよう努力して参ります。どうぞ本年もよろしく願いいたします。

さて、子ども達の様子に目を向けますと、寒さに負けず、好きな遊びを見つけては夢中になっています。より遊び込む姿が見られ、遊びを通して学ぼうとする意欲が芽生え、目標や工夫、そして、友達とのやり取りから信頼や思いやりも育っていて逞しささえ感じます。

昨年の12月末の話になりますが、「みらいこども園」の園長として、系列の学校である「田園調布学園大学」の1年生の授業の時間をいただき、「みらいこども園の魅力・子どもの姿」と題してお話をしてきました。本来なら毎年、田園調布学園大学1年生が、5月から、子ども園に来て、子どもと直接触れ合い子ども理解をすることになっていたのですが、くだんの件で、全て中止となりました。大学生にとっては、貴重な現場体験に触れ合う学生生活の特典でもありましたので、とてもがっかりしたと同時に実習がなくなってこれから保育者になる不安を感じていた学生が沢山いたそうです。今回はその代わりとしての講義でした。100名ほどの参加でしたが、手前味噌ながら、学生たちは真剣な眼差しでメモを取り、時には笑いも出て、あっという間に1時間が経ち、より一層保育者になりたいという意欲が出たとの講評をいただきました。話すだけでも「みらいこども園」は魅力的なのだなど改めて感じるとともに、今後も充実した保育を実践する使命を実感しました。今後も、田園調布学園大学との交流をもっと深め、未来の保育者と子ども達にとってもよりよい環境を作っていきたいと思えます。

人は、様々な経験や体験の中で失敗や落ち込んだ時にどう立ち直っていくかで、人生は変わっていきます。よき理解者がそばにいること、立ち直る力をしっかり身に着けることが、とても大事だと感じます。私たち職員は、子ども達と共に生活しながらお互いを尊重し、共に学んでいきたいと思えます。どうぞ、今後ご理解とご協力をお願いいたします。



始業式で
獅子舞をしました

